

まちの出来事



「ふれあいと支えあいを」

第32回紋別市住民福祉大会

第32回紋別市住民福祉大会が10月21日、市民会館で開かれました。「ふれあいと支えあいの心が育む地域社会づくり」のスローガンのもと、町内会の福祉担当者約200人が出席。各種表彰などを行い、真に温かみのある地域福祉環境

の実現へ決意を新たにしました。

市、社会福祉協議会など5団体で構成する同実行委員会が主催しました。開催にあたり大坪芳雄実行委員長が「寄り添い、支えあい、安心して生活できる環境づ

くりが課題。市民一人一人が積極的に関わることで大切なことと挨拶。名誉大会長の宮川良一市長も「笑いがあふれ心豊かな人が集まる街、紋別の実現を目指します」などと言葉を寄せました。



約40年の歴史にお別れ

紋別漁協市場で最後のセリ

約40年間に渡って漁民、買受人、浜関係者に親しまれてきた港町3、漁協の直営市場が10月31日のセリを最終とし、市民に「お別れ」を告げた(11月16日までに解体、撤去)。漁協事業部の市場業務は、11月1日から市場集荷所(市営1号上屋)に隣接したプレハブに移転。新しい市場は、現在地に来年度中の建設オープンを目指すが、漁業繁栄と浜の歴史を記した「市場」が消えるだけに、関係者たちも「寂しくなる」と感無量の表情でした。

クロカンマラソン&ウォーキング

150人が大山コースで汗

標高334メートルの大山を一周する「紋別クロスカントリーマラソン&ウォーキング大会」(同実行委員会主催、山川善一大会長)が快晴に恵まれた11月4日、森林体験交流センターをスタートする林間コースで開かれました。今シーズンでは昨年を上回る150人(前年120人)が出場し、遠くは札幌、恵庭、旭川、留萌などからも参加。マラソンでは男女とも昨年の覇者、野村智幸さ

ん(旭川市在住、恵庭自衛隊



秋の叙勲・褒章

市内から3人が栄誉に輝く



上林紹道さん瑞宝単光章

民生児童委員を42年間秋の叙勲で潮見町1、大日寺住職、上林紹道さん(79)

が瑞宝単光章(社会福祉功労)を受章しました。昭和37年から平成16年まで、42年間にわたって民生委員・児童委員を務めた功労が認められました。平成3年から平成10年までは民生委員児童委員連絡協議会の会長を務め、リーダーとして、まとめ役としても活躍しました。教育委員会委員長、社会福祉協議会副会長なども

所属)、上林理紗子さん(紋別北高校陸上部・3年生)が優勝を飾りました。

まちの出来事

歴任し、地域の教育・福祉に大きな足跡を残してきた上林さん。
「多くの皆さんに支えていただいたお陰です」と喜びを話していました。

柏倉弘さん 旭日双光章



農業委員で功績

沼の上、元農業、柏倉弘さん（75）が、秋の叙勲で旭日双光章を受章しました。昭和33年から農業委員会委員を38年間も務め、管内、道内の農業委員の役職もこなしてきたことが認められました。

農業を継ぐことになっていた兄が太平洋戦争で戦死したため、昭和21年から家業に従事。20代の若さで農業委員に選ばれ、農業委員会会長を昭和53年から平成8年まで6期18年間務め、網走地方農業委員会連合会会長（2期6年）、北海道農業会議副会長（1期3年）の要職も歴任しました。

松里幹夫さん 藍綬褒章



農業の傍ら保護司で活躍

渚滑町5、松里幹夫さん（72）が、保護司として26年間も活躍し、藍綬褒章に輝きました。今年5月から紋別地区保護司会の会長の要職についていま

裁判員制度、市民が真剣に耳傾け

旭川地裁 紋別でミニフォーラムを開く

11月8日に文化会館で「裁判員制度ミニフォーラム」が開催されました。国民からク



す。「おかえりなさい」と過ちを犯した人達を迎え入れ、更正復帰させた努力の人。先輩からの誘いを断り切れずに保護司を引き受けたのですが、やり甲斐のあることに気がつき、それ以後は「保護司のくせに」と後ろ指を指されないように精進する毎日が続いています。網走支庁管内からは今回、3人が同褒章を受章しました。

判に参加する裁判員制度が21年5月までに始まりですが、実施まであと2年を切った同制度について市民に理解を深めてもらおうというねらいで、旭川地方裁判所が主催しました。地域住民62人が参加し、裁判官からの説明に熱心に耳を傾けました。

裁判員制度をテーマにしたドラマ仕立ての映画「評議」を上映。裁判員に選ばれた一般人の人達が、戸惑いながらも自分の頭で考え、裁判官と協力して評議を行って、有罪か

オホーツク レシピ



イカの肉詰め

作り方

1たまねぎはみじん切りにしてバターで炒め、パン粉は牛乳にひたす。
2ひき肉に1と卵、Aを加えてよく練る。
3イカはワタを抜いて水洗いし、内側にかたくり粉を薄くつけ、足は細かく刻んで2に加える。
4イカに2を詰めて楊枝でとめる。鍋にBを入れて煮立てた中にイカを入れ、中火で時々汁をかけながら、20分くらい煮込む。
5輪切りにして盛り付ける。

エネルギー



<材料> 4人分

イカ	大2杯
牛モモひき肉	120g
たまねぎ	60g
バター	8g
パン粉	12g
牛乳	30ml
卵	1個
かたくり粉	適量
しょう油	小さじ1
コショウ	少々
すりおろししょうが	10g
水	1と1/2カップ
酒	大さじ2
砂糖	大さじ1/2
しょう油	大さじ1と1/2
みりん	大さじ1
かたくり粉	小さじ1

無罪かなどを決めていく様子が紹介されました。その後、旭川地方裁判所紋別支部の支部長・池原桃子裁判官が裁判員制度に関する説明を行い、会場からの質問にも答えながら、「皆さんが裁判に参加していただくことで、裁判をより身近に感じ、わかりやすい裁判を実現していきたい。そうすることで司法への信頼が高まっていくことが期待されます」と理解と協力を求めています。